

安佐南工場建替事業に係る環境影響評価準備書について（答申）

当審査会は、平成18年10月30日に市長から安佐南工場建替事業に係る環境影響評価準備書について諮問を受け、これまで3回の審査を行った。

この事業は、安佐南工場の老朽化に伴い、北西部地区の3工場の機能を集約し、現工場の敷地を一部拡張して建替えようとするものであり、また、予定地周辺は、西風新都の開発により市街化が進んでいる。

このため、地域の特性に応じた適切な環境保全措置が実施され、事業の実施に伴う環境への影響が可能な限り低減されたものとなるよう、下記のとおり審査結果に基づく意見を述べる。

記

1 事業計画について

今後、事業計画がより具体化し、焼却炉の形式や排出ガス処理設備等を選定した際、排出ガス量や排出ガスの設計値等が、準備書に記載されたものに比べて環境負荷の増大につながる場合は、必要に応じて環境への影響について予測、評価すること。また、その予測、評価結果については、住民等にわかりやすく公表すること。

2 建物の解体工事について

建物の解体工事においては、事前に建材中のアスベスト等の有害物質やフロン等の温室効果ガスについても十分な調査を行い、必要に応じて適切な対策を行うこと。

3 大気質について

本事業は、現工場を建替えて焼却能力を倍増するものであることから、今回用いた予測手法により、現工場（処理能力：200t/日）と新工場（処理能力：400t/日）のそれぞれの場合における大気質への影響を明らかにし、その結果を比較するなどわかりやすく評価書に記載すること。

4 騒音について

ごみ収集車の運行ルートとしている道路の周辺には、隣接した住宅や予測値が騒音に係る環境基準値を上回る地点があることから、以下のことについて検討すること。

- (1) ごみ収集車の運行に伴う騒音を低減するための方針や対策について具体的に検討し、その内容を評価書に記載すること。
- (2) 「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム（平成16年7月）」に基づいて、ごみ排出量の削減に努めるとともに、ごみ収集車の効率的な運行により、走行台数を可能な限り減少させるよう継続して検討すること。

- (3) 今後、西風新都の開発動向を踏まえ、必要に応じて道路交通騒音の調査、予測を行うことにより、ごみ収集車の運行に伴う騒音の影響をより低減するよう、運行ルートについて継続して検討すること。

5 景観について

事業に伴う建築物は、西風新都内の住宅団地や幹線道路等からも眺望できることから、建物の色彩、デザイン等については、住民の意見を聴くなど周辺環境に配慮したものとなるよう検討すること。

6 評価手法について

評価にあたっては、予測結果を踏まえた環境保全措置が、実行可能なより良い技術を取り入れているか否か、可能な限りの対策を取り入れているか否かについて検証を行い、その検証内容を明らかにすること。

7 その他

- (1) 事業の実施にあたっては、事業に関する情報の積極的な公開に努め、市民の疑問や意見には、具体的にわかりやすく回答すること。
- (2) 施設の稼働にあたっては、適正な維持管理、環境負荷の更なる低減に向け、継続的な改善を図る環境マネジメントシステムの構築を検討すること。
- (3) ダイオキシン類については、市民の関心が高いことから、適切なモニタリング手法を検討し、施設のより適正な維持管理に努めること。